

イチゴのナミハダニに対する有効薬剤

効果が期待できる農薬は少ない！

農業試験場 主任研究員 井口雅裕

イチゴ栽培における最も重要な害虫ナミハダニの防除対策に役立てるため、主産地である那賀地域の6か所のイチゴ栽培ほ場からナミハダニを採集し、主要5農薬の殺ダニ効果を調べた。



ナミハダニが多発生したイチゴ株
(株全体が萎縮し、やがて枯死する)



ナミハダニの雌成虫と卵
(雌成虫の体長は約0.5mm)

薬剤検定の方法



①現地イチゴ栽培ほ場でナミハダニを採集



②インゲン葉を5cm角に切ってシャーレに入れる



③葉の周囲をキッチンペーパーで囲み、水を入れる



④ナミハダニ雌成虫を放虫(20~25頭/1枚)。
数時間静置し、定着させる



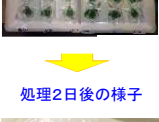
⑤供試農薬を準備



⑥常用濃度に希釈

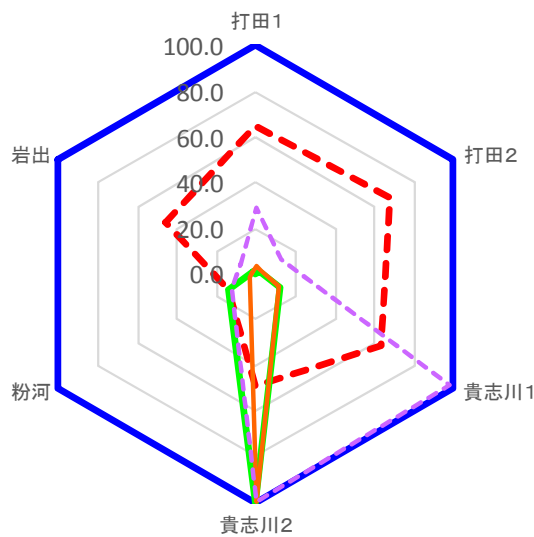


⑦薬液を散布



⑧25℃、16h 日長で管理

処理2日後の様子



供試したナミハダニの由来と薬剤処理日(2018年)

供試個体群	採集場所	採集日	薬剤処理日
打田1	紀の川市(打田地区)	5月7日	5月8日
打田2	紀の川市(打田地区)	5月14日	5月14日
貴志川1	紀の川市(貴志川地区)	5月10日	5月11日
貴志川2	紀の川市(貴志川地区)	5月8日	5月9日
粉河	紀の川市(粉河地区)	5月24日	5月25日
岩出	岩出市	5月21日	5月21日

採集協力: 那賀振興局農業水産振興課

- マイトコーネフロアブル
- - コロマイト水和剤
- スターマイトフロアブル
- ダニサラバフロアブル
- - ダブルフェイスフロアブル

処理2日後のナミハダニの補正死亡率(%) (2018年)

注) 対照(水道水を散布)の死亡率から補正死亡率を算出。

- 👉 マイトコーネフロアブルは、全個体群に対して効果が高かった。
- 👉 コロマイト水和剤は、5個体群に対してやや効果が認められた。
- 👉 その他の農薬は、ほとんどの個体群に対して効果がなかった。

